

〈栗登一平〉4市町連携誘客促進事業業務委託仕様書
(宮城県栗原市・登米市/岩手県一関市・平泉町)

1 目的

県際4市町においてはこれまで、世界遺産「平泉」を中心としたインバウンド誘客を目指し、周辺観光地の情報や魅力を最大限に情報発信していく取組を実施してきたが、新型コロナウイルス感染症により、海外はもとより国内からの観光需要も大幅に減少している状況にあることから、ウィズコロナ、アフターコロナの視点に立った新たな取り組みを展開する必要がある。

今回の事業では、4市町域内でNHK朝の連続テレビ小説の撮影が行われたことを契機に、域内に点在するドラマ、映画等のロケ地や題材地など中心に既存の観光コンテンツも取り入れた周遊ルートを作成し、コロナ禍で需要が高まっているマイクロツーリズムに狙いを定め、国内観光を中心とした観光客の回復と更なる誘客につなげることを目的とする。

2 委託期間

契約締結日の翌日から令和4年2月28日(月)

3 業務内容

(I) ロケ地等を中心とした4市町周遊ルートの設定

ロケ地を中心とした域内コンテンツの情報を収集し、域内の周遊観光を促すための観光ルートを策定する。

① 観光素材コンテンツの収集

- ・ 域内に点在するロケ地等の情報を収集すること。
- ・ 収集した情報をもとに、観光資源としての活用を検討のうえ情報の整理を行うこと。
- ・ 収集方法及び整理の仕方について提案を行うこと。

② 地元関係者による検討会の実施

- ・ 当該地域における観光素材の洗い出し及び観光ルート作成のため、地元関係者によるディスカッションを1回以上実施する。
- ・ ディスカッションにより観光素材コンテンツの受入課題の洗い出し等を行う。
- ・ ディスカッション実施の時期については、事業全体の工程を鑑み、最適と思われる時期を提案すること。
- ・ ファシリテーターは東北広域周遊観光に対する見識を有し、観光ルート形成の経験がある者を提案すること。
- ・ その他ディスカッションに必要と思われる者を加えることも検討すること。

③ モデルルートの作成

- ・ ディスカッションで抽出された観光素材を活かしモデルルートを4本以上作成すること。
- ・ モデルルート作成にあたっては、ロケ地情報を活かした内容とすること。

④ その他提案

- ・ 上記以外に、収集したコンテンツや策定した観光ルートを活かし域内への集客につながる効果的な取り組みがあれば提案すること。

(2) ツール類の作成

過年度事業で作成したホームページ(<http://www.tohoku-central-area.jp/>)を活用し、収集したロケ地情報や観光ルートを掲載する。

① ホームページ等への事業ページの作成

- ・ 収集したロケ地を中心とした観光地情報及び観光ルートを掲載すること。
- ・ 言語は日本語とするが、多言語掲載が効果的である判断する場合は提案に含めることも可とする。
- ・ 過年度事業により掲載している内容の確認を行い、情報更新が必要な場合は対応すること。
- ・ 既存ホームページを使用するための管理、使用料についても見積もりに含めて提案すること。
- ・ その他、周遊観光を促すうえで必要と思われる情報を収集のうえ掲載すること。

② ポスター及びパンフレットの制作

- ・ 作成した観光ルートをPRするため、パンフレットを制作する。
- ・ パンフレットは8ページを想定し、日本語で4,000部印刷する。
- ・ 併せてポスターを400部作成する。
- ・ ポスター及びパンフレットは宿泊施設、観光案内所など、旅行者に効率的に配布できる個所を提案すること。
- ・ 配布時期については、事業全体の工程を鑑み、最適と思われる時期を提案すること。

(3) 情報発信

策定した観光ルートを用いて作成したツール類を活用し情報発信を行い、域内への誘客を図る。

① 域内誘客への情報発信

- ・ メディア等との連携を視野に入れ、効果的に情報発信するための手法を提案すること。
- ・ 併せて広く一般に本取組を告知できる手法を提案すること。
- ・ なお、コロナ禍の影響により当初予定していた対象地域への情報発信が難しい状況と判断した場合は、他の地域に切り替えて情報発信を行うこととする。

② SNS等を用いた情報発信

- ・ 本取組についてSNS等を用いて情報発信を行うための手法を提案すること。
- ・ 言語は日本語とするが、多言語掲載が効果的である判断する場合は提案に含めることも可とする。

(4) 各種分析・フィードバック

4市町の主要観光案内所等を利用する旅行者に対し、域内での観光行動、消費額、満足度等のアンケート調査を実施すること。

① 旅行者向けアンケート調査の実施

- ・ 旅行者に対するアンケート調査を実施するため、実施方法、実施体制、収集方法等の提案を行うこと。

- ・ 収集サンプルは 200 サンプル以上とする。
- ・ 実施時期については、事業全体の工程を鑑み、最適と思われる時期を提案すること。

② 分析・フィードバック

- ・ 収集したアンケート結果は集計のうえ分析を行い、域内の観光関連事業者へフィードバックを行うこと。

(5) 他事業との連動

東北域内で実施している他事業と連動を図ることで事業効果の最大化が期待できるものがあれば提案すること。

(6) 事業実施報告について

- ① 本事業を円滑に遂行するため、各市町への説明・連絡調整を行うこと。
- ② 事業報告書と事業報告書概要版を作成するものとする。

4 その他

- (1) 事業実施にあたっては、4市町が効果的・効率的に連携が図れるような体制をとること。
- (2) 委託者が、経過報告を求めた場合は、遅滞なく応じること。
- (3) 事業実施につき、疑義が生じた場合は、その都度協議を行うこと。